

ひまわり



令和3年7月7日(水)

七夕



本日、7月7日は七夕です。昨日、22時頃に夜空を見上げてみました。本来なら、夏の星座が観測できるはずですが、残念ながら見ることはできませんでした。今宵も期待できそうにはありません。

七夕の主人公は、彦星（ひこぼし）と織姫星（おりひめぼし）。ともに明るく輝く1等星です。彦星はわし座のアルタイル、織姫星はこと座のベガです。小学校では、はくちょう座のデネブと合わせて、夏の大三角として学習しましたね。

ところで、七夕伝説は、奈良時代に中国から伝わりました。天帝(天の神様)の娘の織姫は、牛飼いの青年牽牛（けんぎゅう）と結婚しました。ところが、その後、織姫は大切な機織り（はたおり）の仕事をきちんとしなくなってしまうのです。このことが天帝の怒りに触れ、二人は天の川をはさんで兩岸に引き離されてしまいます。しかし、一年に一度だけ会うことを許されます。その日が7月7日なのです。この話が日本で古来から伝わる棚織津女（たなばため）の話と融合し、日本の七夕伝説が作られたのです。

七夕は、日本に入ってきた当初、貴族の星祭りであったと言われています。優雅で煌（きら）びやかなものであったに違いありません。時は流れ江戸時代になり、七夕は、習い事などの上達を願う庶民の文化として広がっていきます。

「お習字が上手になりますように」「三味線がうまく弾けるようになりますように」など、思い思いの願いを短冊にしたため、笹につるし天に向かい掲げたのでした。

さて、皆さんの願い事はどのようなものでしょうか。願い事は目標でもあります。今日は自分の目標を紙にしたため、その願いが叶うよう、努力することを誓ってみてはどうでしょうか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

